

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:知的財産センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、情報通信技術を活かした教育を提供するための環境整備を行い、知的財産学習用コンテンツを提供する情報基盤システム(Iprismシステム)を構築し、E-ラーニング知的財産法プログラム等のシステムを平成24年4月より試験運用開始するなど、特筆すべき取り組みを行っている。さらに、今年度新たに6科目を法学研究科知的財産法プログラム特別コース(社会人対象)に提供するとともに、顕著な開講実績を上げるなど成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、科学研究費補助金、特許庁調査研究事業等の外部資金の獲得実績が上がったほか、若手研究者を中心とした知財研究会である智適塾を立ち上げ、8回開催するなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、産官学連携したシンポジウム、フォーラムを年間6回開催するなど積極的に取り組んでおり、センターの優れた研究成果を社会へ還元しただけでなく、知財教育への取組を内外に広くアピールすることができるなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、異なる学科の学生のニーズに合わせた教材作りに取り組み、「知的財産法入門」の完成のほか、「意匠法」の出版、「商標法」の仮出版、「特許法」の完成など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>